

人形劇

厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財

人形劇団わがや

原作：田島征彦／作・絵

(桂米朝・上方落語「地獄八景亡者戯」より)

童心社 刊

子どもたちに大人気の絵本を人形劇化!!

脚色・演出：山根宏章

人形美術：松本真知子

音楽：仲林光子

人形・セット指導：田島征彦

邦楽の演奏でコミカルに描く地獄八景

邦楽の音色で、コミカルな上方落語の世界を!!



あらすじ

賑^{にぎ}わいを見せる浪速^{なみ}の町^{まち}、軽業師^{かるわざし}のそうべえが綱渡り^{つなわた}を演じている。
調子^{ちょうし}に乗ったそうべえは、ふと足を滑^{すべ}らせて 高い空^{たか}から 地面^{じめん}に叩^{たた}きつけられ、
そのまま黄泉路^{よみじ}をさまようことに…

三途^{さんず}の川^{かわ}では 舟^{ふね}の渡し賃^{わた}にと 身ぐるみをはがされ、
「地獄^{じごく}の沙汰^{さた}も金次第^{かねしだい}やなあ」と 気落ち^{きおち}していると、
同じ舟^{おなふね}に乗り合わせた、医者^{いしや}の「ちくあん」と 山伏^{やまぶし}の「ふっかい」、
歯医者^{はいしや}の「しかい」が お互^{たが}い同じ身^{おなみ}の上^{うえ}と、気易^{きやす}く仲間^{なかま}となった。

そこへ「ごちゃごちゃすなよ、川^{かわ}に落ちたら 生き返^{かえ}るで」と鬼^{おに}の声^{こえ}、
「そいつはいい」と 四人^{よにん}は 川^{かわ}にとび込んだものの、
すぐさま鬼^{おに}につかまって、引き出^ひされたのが えんま大王^{だいおう}の前^{まえ}。

「めんどくさい、おまえら地獄^{じごく}ゆきじゃ」と えんま大王^{だいおう}の ひとことで、
地獄^{じごく}送りとなり、ふん^{じごく}によう地獄^{じごく}に 釜ゆ^{かま}で地獄^{じごく}、針^{はり}地獄^{じごく}、
果^はては じんどんきの腹^{はら}の中^{なか}と 地獄^{じごく}の責^せめ苦^くは 果^はてもなし。

しかし四人^{よにん}は 落ちた地獄^{じごく}で 得意^{とくい}の芸^{げい}を活^いかして立ち向^むかい、
えんま大王^{だいおう}もまっ青^{さお}の大活躍^{だいかつやく}で、地獄^{じごく}の中^{なか}は 上^{うえ}を下^{した}へのおおさわぎ、
さてその運命^{うんめい}は…。



場割

- プロローグ (a) 舞台前、街頭宣伝の《そうべえ一座》
 (b) 舞台上、大道芸人たち
 第一景 商家の中庭、そうべえの軽業
 転換景 虚空の闇 ~ 黄泉路の旅~ 火炎車
 第二景 (a) 三途の川の渡し場
 (b) 渡し船 — 賑やかな旅
 第三景 (a) 閻魔大王の前 — 裁きの庭
 (b) 浄玻璃の鏡
 (c) もとの閻魔大王の前 — 宣告

— 休憩 —

- 第二幕序景 地獄めぐり案内図の幕前
 第四景 糞尿地獄
 転換景 お囃子連中
 第五景 (a) じんどんき参上
 (b) じんどんきの腹の中
 転換景 お囃子連中 ~ 閻魔大王と鬼たち
 第六景 釜ゆで地獄
 第七景 針山地獄 — 地獄からの追放
 エピローグ 蔵元の中庭 — そうべえ生き返る



そうべえとその仲間たちが
 地獄で大暴れ!



ブラックライトで怪しく光る
 じんどんきの腹の中



客席と一体となって
 物語が進みます

